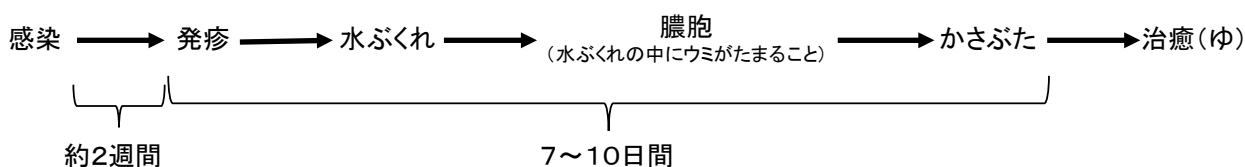


みずぼうそう(水痘)

みずぼうそう(水痘)はウイルスを原因とする、かゆみのある発疹のできる感染症です。例年、12～7月に流行し、主に9歳以下の乳幼児がかかります。

★症状★

- 潜伏期間は2週間程度(10～21日)です。
- 全身に発疹ができ、かゆみを伴います。発疹は水ぶくれとなり、中に白いウミがたまっただ後、最後はかさぶたになります。数日にわたって新しい発疹が次々と現れますので、発疹が全てかさぶたになるまで、1週間から10日かかります。
- 一般的に38度前後の熱が出ますが、まれに40度以上の高熱になることがあります。



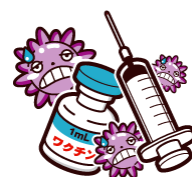
- みずぼうそうそのものが重症化することはまれですが、熱性けいれんや肺炎、気管支炎等を併発し、入院が必要になることもあります。
- 妊婦が妊娠初期に感染すると、胎児に影響を及ぼすことがあります。

★治療方法など★

発疹が出てから24時間以内に抗ウイルス薬(アシクロビル、バラシクロビル)を服用すると、症状が軽くなると言われています。水ぶくれに対しては、かゆみの軽減や周囲への感染予防を目的とした塗り薬が処方されることが一般的です。

★感染経路と予防方法★

- 原因のウイルスの感染力は非常に強く、空気感染、飛沫感染及び接触感染により広がります。かさぶたの中にはウイルスはありませんが、水ぶくれの中にはウイルスがあり、感染するので、症状のある人に近づかないことが重要です。
- 効果的な予防方法は、ワクチン接種のみです。
- 平成26年10月1日から接種対象者は公費(無料)でワクチンを受けられるようになりました。



【対象】生後12箇月から36箇月まで(1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日まで)のお子さん

【接種回数】2回(1回目の接種から3箇月以上経過してから2回目を接種します。)

【標準接種スケジュール】

年齢 (月齢)	1歳												2歳	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
接種 期間	1						2							



接種対象年齢



標準接種期間(数字は接種回数)

※接種時期の詳細については、医療機関に御相談ください。

★学校や保育園など★

みずぼうそうにかかったら、学校や園に速やかに連絡しましょう。一般的には、全ての発疹がかさぶたになるまで登校・登園はできません。登校・登園については、医師の指示に従いましょう。

気になる症状がある場合は、すぐにかかりつけの医療機関を受診しましょう！



★お問合せ先★

○京都市保健福祉局衛生環境研究所 微生物部門

(TEL:075-606-2676 FAX:075-606-2671)

(平成28年7月編集)